

## 熱海市伊豆山の大規模土石流災害を巡る経過表

3日

- 大規模土石流が発生、多数の民家が巻き込まれる。女性2人の死亡を確認
- 熱海市が「緊急安全確保」発令
- 県が災害対策本部設置。川勝平太知事が自衛隊に派遣要請

4日

- 県が土石流の起点付近で開発行為に伴う盛り土の崩落を確認したと発表
- 県が少なくとも建物130棟が流されたと発表
- 市が約20人としていた安否不明者数を白紙撤回。147人の安否調査を表明

5日

- 市が新たに2人の死亡を確認したと発表。死者は計4人に
- 知事が現場視察
- 県が安否不明者64人の名簿公表。公表を受けて連絡が相次ぎ、翌日午前時点で41人の生存を確認
- 加藤勝信官房長官が避難情報発令の在り方を検証する必要があるとの認識を示す

6日

- 市が新たに3人の死亡を確認したと発表。死者は計7人に
- 棚橋泰文防災担当相が現場視察

7日

- 市の土砂災害警戒情報が解除。大雨警報が大雨注意報に
- 県が崩落盛り土付近の土地改変を巡り、県や市が事業者には是正指導を行っていたと明かす
- 盛り土が届け出以上の高さにかさ上げされていた疑いが県の調査で判明
- 県が逢初川土石流災害対策検討委員会の初会合を開催

8日

- 市が新たに2人の死亡を確認したと発表。死者は計9人に
- 伊豆山小を除く10小中学校と公立幼稚園、こども園が再開
- 有料道路「熱海ビーチライン」で地元住民の車両通行が再開
- 赤羽一嘉国土交通相が現場視察
- 県が流れ下った土砂総量を約5万5000立方メートルとする分析結果を公表。流出土砂の大半は盛り土との見解

9日

- 大雨注意報が解除
- 県が市に被災者生活再建支援法を適用すると発表

10日

- 県と市が「安否不明者」の名簿を、「行方不明者」として公表することを決定

11日

- 市が新たに1人の死亡を確認したと発表。死者は計10人に

12日

- 市が避難者の一時帰宅を実施。一部の避難者が立ち入り制限区域に入ったとして13、14日に予定していた一時帰宅の中止を発表
- 菅義偉首相が現場視察
- 市が「高齢者等避難」を解除

13日

- 市が新たに1人の死亡を確認したと発表。死者は計11人に
- 県が起点付近の盛り土の工法について、県土採取等規制条例に違反していたとの見解を発表。発生原因の究明と行政手続きの検証を進める方針を示す

14日

- 県が県内の盛り土を緊急点検すると発表

15日

- 市が新たに1人の死亡を確認したと発表。死者は計12人に
- 県と市が市役所に「住まい相談窓口」を開設
- 市が20日から避難者に別のホテルに移ってもらう方針を示す
- 新幹線の線路山側での捜索活動に初めて中型重機が入る

16日

- 市が新たに1人の死亡を確認したと発表。死者は計13人に